



かるかる

2018年

11月

vol.278



▲江戸高名會亭畫 牛嶋(武蔵屋) 北九州市立美術館蔵

卓呼から將軍まで
食の歴史も大公開!



▲狂歌ねぼけ百首 部分
北九州市立美術館蔵

東アジア友好博物館
巡回展

日本
初公開

中国大連市旅順博物館が
所蔵する春秋戦国時代から
現代までの箸コレクション
104件を一挙公開!

▲旅器養具 中国大連市旅順博物館蔵

箸と和食の文化史

食のたび



ふくおか 55th Anniversary
県民文化祭 北九州市

平成30年度 文化庁 地域的美術館・歴史博物館を中核としたクラスター形成事業



いただきます



▲江戸名所洲崎しほ千狩 部分
北九州市立美術館蔵

このあと おすしに
焼きとりにおさしみ!?
すごなおもてなし!



▲狂歌ねぼけ百首(山鯨汁) 部分
北九州市立美術館蔵



▶朝鮮通信使饗宴膳 部分 新宮町教育委員会蔵

特別展の詳しい内容は <http://shokutabi.jp>

会期 平成30年 10/20(土) 会期中 無休 12/9(日)

開館時間 9:00~17:00(入場は16:30まで)

〈主催〉北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)、毎日新聞社
〈後援〉福岡県教育委員会、NHK北九州放送局
〈協力〉中華人民共和国遼寧省大連市旅順博物館・大韓民国仁川広域市立博物館
大川市立清力美術館・北九州市調理師連合会・北九州市立美術館・北九州八幡調理師会
新宮町教育委員会・奈良文化財研究所・ニッスイバイオニア館・広島県立歴史博物館
福岡県立図書館・福岡市博物館・御食国若狭おばま食文化館



北九州市立自然史・歴史博物館
いのちのたび博物館
KITAKYUSHU MUSEUM OF NATURAL HISTORY & HUMAN HISTORY
北九州市八幡東区東田2-4-1 TEL:093-681-1011

特別展「食のたび」
大 人500円(400円)
高・大生300円(240円)
小・中生200円(160円)

セット券
特別展「食のたび」
+常設展
大 人900円(760円)
高・大生500円(420円)
小・中生300円(240円)

セット券はセブンチケット(セブンコード:068-518)でもお求めいただけます。 ※ ()内は30名以上の団体料金 ※未就学児は無料

小倉北 北九州芸術劇場

所小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州6F ☎093(562)2655 開公演によって異なります
 〆「西小倉駅」徒歩3分 〆「室町・リバーウォーク」徒歩1分 開年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	北九州市 SDGs未来都市 キックオフイベント	4(日)	14:00	無 料 ※要事前申込、10/22月締め切り	株式会社コムディア 093(533)6277
	小・中学生向け薬物乱用防止キャンペーン 第10回2018ダンスフェスティバル	10(土)	12:30	無 料	北九州市教育委員会学力・体力向上推進室 093(582)3445
	ナニフラスタジオ福岡 20周年記念 第6回発表会	11(日)	14:30	¥3500 ※当日¥500増	満尻 093(951)1264
	ゲゲゲの先生へ イクウメ前川知大×佐々木蔵之介豪華キャストが描く、水木しげるの世界。	17(土)	18:00	S席 ¥8000 A席 ¥6000 ユース(24歳以下) ¥4000 高校生(的)チケット ¥1500	北九州芸術劇場 093(562)2655
		18(日)	13:00	※対象:小学生以上	
	九州歯科大学 BLUE NOTES 第63回定期演奏会	23(金)祝	18:00	無 料	九州歯科大学 BLUE NOTES 090(5034)8580【花木】
中劇場	『砂の器』シネマ・コンサート 映画『砂の器』をフルオーケストラの演奏とともに上映します。	25(日)	14:00 13:00開場	S席 ¥5000 A席 ¥3800 ※対象:小学生以上	松本清張記念館 093(582)2761
	マンホールサミット 北九州 2018	3(土)祝	13:00	無 料	北九州市上下水道局 下水道計画課 093(582)2480【緒方】
	第26回ふくおか県民文化祭2018参加 SHEENA ～I LOVE YOU～ 葉月けめこ:作	10(土)	13:30 18:30	一般 ¥3000 学生(大学生以下) ¥2000 ※当日¥500増 ※未就学児親子室あり(無料・要予約・2組)	劇団青春座 093(922)4995
		11(日)	13:30		
	北九州市民劇場11月例会 劇団NLT「毒薬と老嬢」	13(火)	18:30	会 費	北九州市民劇場 093(541)0075
		14(水)～ 15(木)	13:30		
		16(金)	13:30/18:30		
		17(土)～ 18(日)	13:30		
		19(月)	12:30	※対象:小学生以上 ※市民劇場会員でない方はお 問い合わせください	
	エレクトーンフェスティバル2018 アンサンブル小倉店大会	23(金)祝	15:30 15:10開場	無 料	(株)ヤマハミュージックリテイリング小倉店 093(531)4342【山下】
	講演会「平成の新発見!小倉城一石垣調査の成果と城の暮らし」	25(日)	13:00 12:20開場	無 料 ※対象:小学生以上	北九州市市民文化スポーツ局文化企画課 093(582)2391
小劇場	(一社)福岡県建築士事務所 平成30年度建築士事務所キャンペーン	2(金)	13:00 12:15開場	無 料	(一社)福岡県建築士事務所協会北九州支部 担当 藤本孝行 093(883)3400
	市制55周年記念 北九州市長杯 サウンド・オブ・北九州～家族でGO! GO! 歌合戦～	3(土)祝	15:00	無 料	小倉北区役所総務企画課 093(582)3335【村上】
	第120回音楽の広場PAMコンサート	11(日)	14:00	一般 ¥1000 会員 ¥ 500	音楽の広場PAM事務局 岩崎博信 090(9605)3881
	森川澄子シャンソンコンサート	18(日)	16:30	¥3500	森川澄子 090(4570)5792
	北九州芸術劇場プロデュース/九州男児劇 「せなに泣く」 熊本県出身の劇作家・演出家 田上豊と九州出身の俳優たちによる群像劇。	29(木)～ 30(金)	19:00	一般 ¥3000 学生(小～大学生) ¥2500 高校生(的)チケット ¥1000 ※対象:小学生以上 ※当日¥500増	北九州芸術劇場 093(562)2655
		12/1(土)	13:00/18:00		
		12/2(日)	13:00		

小倉北 北九州芸術劇場
市民ギャラリー

所小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州5F ☎093(562)2520
 開10:00～19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
 〆「小倉駅」徒歩10分 〆「西小倉駅」徒歩3分 開年末年始

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
Excellent Moments in Europe & Paris 2018 他 写真	7(水)～13(火)	無 料	クリエイティブフォト 090(8391)8235
わいわいフォト研究会発足記念展 写真	14(水)～20(火)	無 料	わいわいフォト研究会 090(7463)3362
第5回北九州フォトクラブ写真展 写真	21(水)～27(火)	無 料	北九州フォトクラブ 093(962)9669
シルバーさわやか作品展 絵画・書道・陶芸作品・工芸品・手芸・写真・彫刻・その他	11/28(水)～12/4(火)	無 料	(公社)北九州市シルバー人材センター 093(922)4801

門司 出光美術館(門司)

所門司区東港町2-3 ☎093(332)0251 開10:00～17:00(入館は閉館30分前まで) 〆「門司港駅」徒歩8分
 〆「門司IC」約10分 開月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)、展示替期間、開年末年始

イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
花鳥の彩りー雪舟と江戸絵画 絵画や工芸作品を通して、花鳥が織りなす魅力をご紹介します	開催中～11/4(日)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251
青磁と白磁 東洋の青と白のやきもの。古陶磁～近現代の名品より、その魅力に迫ります。			一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	
列品解説 学芸員が展示作品を分かりやすく解説します	11(日)	① 11:00 25(日) ② 14:00	無 料 ※入場料が必要	

門司 門司港レトロ展望室

所門司区東港町1-32 ☎093(321)4151 開10:00～22:00(カフェは20:30まで※天空ジャズ開催日以外のカフェの営業時間は
 「関門海峡&門司港レトロ」ホームページをご確認ください。入館は閉館30分前まで 〆「門司港駅」徒歩5分 開年4回

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
天空ジャズ 出演:近藤タケユキ・トリオ	3(土)祝	18:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151



演劇・舞蹈



音楽



美術・展示



映像・その他催し

八幡東 北九州市立響ホール

所八幡東区平野1-1-1 画093(662)4010 泉「八幡駅」徒歩15分 泉「八幡駅入口第一」徒歩10分
 泉「国際村交流センター」徒歩3分 休年末年始、隔月1回(不定休) 画240台(有料)

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
江崎裕子 中島桃子 ジョイントコンサート オペラ「ヘンゼルとグレーテル」日本語上演 ほか	3(土)祝	14:00	一般 ¥2500 学生(小〜大学生) ¥1000 ※当日各¥500増 ※全席自由	Muse 090(3661)6438【江崎】
第65回 八幡東区連合音楽会	7(水)	13:20	無 料 ※対象:3歳以上 ※全席自由	北九州市中学校文化連盟 (中央中学校) 093(662)2190【濱田】
2018北九州国際音楽祭 ドビュッシー没後100年記念 ミシェル・ダルベルト[ピアノ]〜ドビュッシーと葛飾北斎〜 ドビュッシー: 前奏曲集 第1集、前奏曲集 第2集	10(土)	15:00	指定席 ¥4000 一般自由席 ¥3500 U-25自由席 ¥2000(25歳以下、要証明) ベア自由席 ¥6000 ※対象:小学生以上 ※当日各¥500増 ※自由席セット券(¥6000)対象 ※ベア自由席前売のみ取扱 ※一部指定	北九州国際音楽祭事務局 093(663)6567
北九州市小学生合唱フェスティバル	18(日)	13:30	無 料 ※全席自由	北九州市教育委員会指導第一課 093(582)2368【花田】
2018北九州国際音楽祭 響ホール開館25周年記念 マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ 小山実稚恵[ピアノ] ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」、交響曲 第3番「英雄」	23(金)祝	15:00	S席 ¥6000 A席 ¥4000 U-25(A席) ¥2000(25歳以下、要証明) ※対象:小学生以上 ※A席・U-25(A席)売切 ※当日各¥500増 ※全席指定	北九州国際音楽祭事務局 093(663)6567
第36回 産業医科大学混声合唱団定期演奏会 「かなでるからだ」、「TSUNAMI」、「僕が守る」 ほか	24(土)	18:30	無 料 ※全席自由	産業医科大学混声合唱団 メデュトピアコール 090(9329)9669【清水】
第56回 定期演奏会 初恋、ジュピター、くるみ割り人形 ほか	25(日)	14:30	一人券 ¥1500 二人券 ¥2000 ※小学生以上有料 ※全席自由	北九州演奏家グループ「虹の会」 090(9472)0217【林田】
第19回 九州国際大学付属中学校 音楽祭	30(金)	13:00	無 料 ※一部指定	九州国際大学付属中学校 093(671)9001【安部】

門司 旧門司税関 所門司区東港町1-24 画093(321)4151 画9:00〜17:00
 泉「門司港駅」徒歩3分 画なし

会場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
1・2階	「門司港・美のかげら」 「門司港アート村」から「門司港美術工芸研究所」までの卒業生と現研究員、約20名による作品展示	10/27(土)〜11/4(日)	無 料 ※4日は16:00まで	門司港美術工芸研究所 093(322)1235
2階	2018 Sympathy写真展「いつかどこかで」	7(水)〜13(火)	無 料 ※7(水)は12:00から、13(火)は15:00まで	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	「門司区文化祭写真公募展」	15(木)〜21(水)	無 料 ※21(水)は16:00まで	
	「ニューヨーク、ストックホルム、そして北九州〜西田孝広絵画・版画展」	23(金)祝〜27(火)	無 料	
	「門司の画家たち展」	11/29(木)〜12/5(水)	無 料 ※12/5(水)は15:00まで	

門司 門司市民会館 所門司区老松町3-2 画093(321)2907 画9:00〜22:00
 泉「門司港駅」徒歩13分 泉「関門トンネル車道口」徒歩2分 泉「レトロ東本町1丁目」徒歩3分 休年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	第68回門司区文化祭 三曲演奏会	4(日)	12:30	無 料	門司文化団体連合会 093(331)6232
	第68回門司区文化祭 区民音楽祭	10(土)	14:00	無 料	
	第68回門司区文化祭 日本舞踊大会	18(日)	12:30	¥1000 (前売・当日共)	

門司 旧大連航路上屋 所門司区西海岸1-3-5 画093(322)5020 画9:00〜17:00
 泉「門司港駅」徒歩5分 休年4回

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
多目的室B 2階ホール	サンセット&トワイライトフォトコンテストVol.11連携イベント「よく分かる写真の基礎講座」 写真家四宮佑次氏による「よくわかる写真の基礎講座」	3(土)祝	10:30〜12:00	無 料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	海峡寄席 北九州を中心に活動している素人落語サークル「ざんなん落語の会」の落語や漫談をお楽しみください	25(日)	14:00〜15:30	無 料	
	マンスリージャズ 出演:イエスタディトレース	11(日)	14:00〜16:00	無 料	
	ボクもわたしも映写技師 映写技師の指導を受けた小学生が8ミリ映画を上映。上映作品「さらば宇宙戦艦ヤマト」等4作品	24(土)	14:00〜16:00	無 料	

門司 松永文庫 所門司区西海岸1-3-5(旧大連航路上屋1F) 画093(331)8013 画9:00〜17:00
 泉「門司港駅」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
松永文庫企画展「イラストによる映画ポスター展」 映画のポスターに描かれたイラストにスポットを当てた、大人から子供まで楽しめる企画展です。	10/17(水)〜1/6(日)	無 料	松永文庫 093(331)8013

小倉北 北九州市立こども文化会館(併設到津市民センター) 画093(592)4152 画9:00〜17:00
 画「小倉北特別支援学校」徒歩1分、「下到津」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 画20台

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
図書室 児童館	ビデオ一む 子ども向けアニメの上映 「ミッキー・マウス ミッキーの誕生日」	4(日)	14:00	無 料	北九州市立こども文化会館 093(592)4152
	おはなしワールド 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど	24(土)	14:00	無 料	
	こども落語教室卒業公演 「到津こども寄席」 子どもが、日本の伝統芸能である「落語」を学び、成果を発表します。	25(日)	14:00	無 料	

小倉北 アルモニーサンク北九州ソレイユホール   etc. 所小倉北区大手町12-3 ☎093(592)5405 公演によって異なります
 小倉駅 徒歩30分 西小倉駅 徒歩15分 小倉ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分
 休年末年始、毎月1回(不定休) 80台(有料)

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	博多・天神落語まつり in 小倉 三遊亭円楽、三遊亭好楽、三遊亭歌之介、柳家花緑、柳家喬太郎、林家三平	4(日)	13:00	全席指定 ¥5400 ※対象:小学生以上	キョードー西日本 092(714)0159
	ランチタイム ワンコイン パイプオルガンコンサート ～お昼のひと時をソレイユホールで～ シリーズⅠ 金管楽器と共に!	6(火)	12:00	¥500 ※70歳以上無料	北九州ソレイユホール 093(522)5405
	芸能生活50周年記念 前川清 コンサート	9(金)	14:00 18:30	S席 ¥7000	ソワード(株) 0956(22)2036
	北九州市民文化大学文化講演会 講師:福岡伸一(生物学者・青山学院大学教授)	10(土)	13:30	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093(522)5008
	こどもがまんなかコンサート 歌のおねえさん(中村萌子)・ダンスのおねえさん(いとうまゆ)	17(土)	10:30 14:00	全席指定 ¥1200	(一社)福岡県私立幼稚園振興協会 092(713)7338
	2018北九州国際音楽祭 ユーリ・テミルカーノフ 指揮 サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団 庄司紗矢香【ヴァイオリン】	18(日)	15:00	SS席 ¥12000 S席 ¥10000 A席 ¥7000 B席 ¥5000 U-25(A&B席) ¥2000 ※当日 ¥500増	北九州国際音楽祭事務局 093(663)6567
	金剛山歌劇団2018年舞踊ミュージカル～春香伝～ 新しい春を呼び起こす。一つになるという夢を、香りに乗せて。	20(火)	18:30	大人 ¥3000 小人 ¥1500 ※当日 ¥500増 ※全席自由	金剛山歌劇団北九州公演実行委員会 093(521)7074
	沢田研二 70YEARS LIVE OLD GUYS ROCK	21(水)	18:30	全席指定 ¥8000 ※対象:小学生以上	北九州ソレイユホール 093(592)5405
	宝塚歌劇花組全国ツアー北九州公演 【主演】柚香光	30(金)	14:00 18:00	S席 ¥7500 A席 ¥6200 ※対象:小学生以上	西日本新聞イベントサービス 092(711)5491

小倉北 北九州国際会議場 etc. 所小倉北区浅野3-9-30 ☎093(541)5931 9:00～22:00(変動あり)
 小倉駅 徒歩10分 休年末年始

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
会議場	地球に生まれて! 第11回「都市と自然の共生」シンポジウム 基調講演・シンポジウム	9(金)	13:00～ 17:00	無 料	(一社)北九州緑化協会 093(654)1233

小倉北 北九州市漫画ミュージアム  etc. 所小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5F・6F) ☎093(512)5077
 11:00～19:00(入館は閉館の30分前まで) 小倉駅 徒歩2分 休火曜日、年末年始

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
展示室	鋼の錬金術師展 貴重な漫画生原稿で「ハガレン」の世界を振り返ります。	10/13(土)～12/9(日)		一般 ¥1000 中高生 ¥500 小学生 ¥250 [開設セット第1]一般 ¥1200 中高生 ¥600 小学生 ¥300	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
ミニギャラリー	原型師の世界 岩倉圭二展 地元出身・在住のフィギュア原型師の作品と制作過程を紹介。	8/4(土)～11/15(木)		無 料 常設展入場料が必要	
	北九州漫画家列伝～陸奥A子特集～ 北九州市ゆかりの漫画家・陸奥A子の初公開原画などを展示。	8/18(土)～10/26(金)		無 料 常設展入場料が必要	
	海峡マンガ合戦～中国ブロック YU-TA～ 日本漫画家協会九州ブロックと中国ブロックに所属する作家のミニ個展シリーズ。	9/15(土)～11/22(木)		無 料 常設展入場料が必要	
イベントコーナー	マカロニほうれん荘展 in 福岡 福岡県出身の漫画家・鴨川つばめによる伝説的ギャグ漫画の原画展。	11/17(土)～1/17(木)		無 料 常設展入場料が必要	
	漫画体験 漫画の模写や塗り絵、ペンの使い方、簡単なデジタル作画など、初心者でも参加できます。	11(日) 24(土)	13:30～ 16:30	無 料 常設展入場料が必要 ※当日各先着20名、途中参加可	
	漫画スクール ①★漫画スクール上級編(テクニック編) ②ゆるキャラ作り・モンスター作り	①18(日) ②25(日)	13:00～ 16:00	無 料 常設展入場料が必要 ※対象:①高校生以上、②小学3年生以上 ※要電話申込、定員各20名	

小倉北 北九州市立小倉城庭園  etc. 所小倉北区城内1-2 ☎093(582)2747 9:00～17:00(11月～3月)入館は閉館の30分前まで
 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 休なし

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
企画展示室	武将のたしなみ ～利休・三斎・織部とつながる松井家の茶の湯～ 細川家筆頭家老である松井家が守り続けた茶道具を紹介します。	9/16(日)～11/18(日)		一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093(582)2747
	城内動植物園 ～小倉城庭園の美術より～ 当館所蔵の絵画・工芸作品の中から、動物や植物をモチーフにした作品を紹介。	11/24(土)～1/27(日)		一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	
研修室	講演会「松井家の茶の湯と松井文庫」 松井家十四代御当主にお話をうかがいます。	3(土)祝	14:00	¥1000 (入館料込) ※対象:小学生以上	
書院棟	小笠原流 袴着の祝い・帯直しの祝い 一般公募で選ばれたお子様4名が、小笠原流の七五三を体験します。	18(日)	袴着の祝い 12:00 帯直しの祝い 13:00	一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	
和室	香を聞く会 数種類の香木をたいて聞き当てる「組香」という競技形式で行います。	23(金)祝	10:00 11:30 13:00 14:30	大人 ¥1500 小中学生 ¥700 (香席・呈茶付・入館料込) ※対象:小学生以上	

小倉北 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ   etc. 所小倉北区大手町11-4 ☎093(583)3939 9:30～21:30 小倉駅 徒歩15分
 小倉ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分
 休所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始 有料

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
ホール	詩吟朗詠錦城会小倉支部55周年記念大会 詩吟・詩舞・琵琶	11(日)	13:00	無 料	詩吟朗詠錦城会小倉支部 090(4985)1515【岡本】
	Sound Fantasy 2018 エレクトーンアンサンブル発表会	18(日)	16:30	無 料	株式会社ミュージックリテイリング小倉店 093(531)4342【山下】
	セピア色の町青空をとりもどした女たち 公書記録映画「青空がほしい」をベースとした舞台劇	25(日)	14:00	一般 ¥1000 中～大学生 ¥500 ※小学生以下無料	「青空がほしい」を舞台化する会 090(8620)6194【坂根】

小倉北 北九州市立美術館分館

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
石川直樹 この星の光の地図を写す 過酷な極地から都市の混沌まで、世界をフィールドに活躍する写真家・石川直樹の写真や映像、愛用の道具などを総合的に紹介	開催中～11/4日	一般 ¥1100 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※20名以上の団体料金 一般 ¥900 高大生 ¥400 小中生 ¥300	北九州市立美術館分館 093(562)3215

小倉北 北九州市立文学館

所 小倉北区内4-1 ☎093(571)1505 ⌚9:30～18:00(入館は閉館の30分前まで)
 乗 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 車 勝山公園(市立文学館前) 徒歩1分
 休 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
描かれた西郷どん展～アート、文学、サブカルから～ 美術、文学、サブカルチャーなどに描かれる西郷隆盛のイメージを紹介する。	10/27(土)～ 12/16(日)		一般 ¥700 中高生 ¥200 小学生 ¥100 ※30人以上の団体料金 一般 ¥560 中高生 ¥160 小学生 ¥80	北九州市立文学館 093(571)1505
文学講座「西郷隆盛の漢詩と人生一敬天愛人の志」(全2回) 講師：林田愼之助さん(神戸女子大学名誉教授)	10(土)	13:30	無 料 ※要電話申込 ※2回目は12/15(土)開催	
中国ミホさんトークライブ 大河ドラマ「西郷どん」の脚本家・中国ミホさんによるトークイベント。	24(土)	13:30	無 料 ※要事前申込 ※会場：北九州市立男女共同参画セ ンター・ムーブ(小倉北区大手町)	

小倉北 小倉井筒屋

所 小倉北区船場町1-1 ☎ 093 (522) 3111(代) ⌚ 10:00～19:00※各最終日は16:00に閉場
 駅 小倉駅 徒歩7分 休 不定休

会場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
新館7階大画廊	ジャネット・ルール来日絵画展 ～フランス・ブルターニュ地方の優しい光と風～ イギリス出身。ブルターニュの美しい風景を描いた作品を展示。	10/31(水)～11/6(火)	無 料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	波濤の会 東京藝術大学名誉教授・日本画家 中島千波氏の教え子達による展覧会。	7(水)～13(火)	無 料	
	日本の四季賛歌 川島末雷 油絵展 上海生まれ。細密な描写で日本の四季を描いた作品を紹介する。	14(水)～20(火)	無 料	
	蒲原 元 展 ～それぞれが迎える一日～ 美しい色彩と絵肌、詩的に描かれた油彩画などを紹介。	11/28(水)～12/4(火)	無 料	
新館7階小画廊	日本の紀行展 ホウ・ピルソク絵画展 韓国釜山出身の画家 ホウ・ピルソクの個展	10/31(水)～11/6(火)	無 料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	～西洋の美～ ヨーロッパアンティーク展 アールヌーボーのガラス作品をはじめ、ヨーロッパ陶磁器などを一堂に展示。	7(水)～13(火)	無 料	
	第13回 阿部眞土 作陶展 八幡東区で作陶。端正な造形の白磁や青磁の新作を展示。	14(水)～20(火)	無 料	
	船戸あやこ 作陶展 スペインタイルの第一人者。伝統的な手法で作られたオリジナル作品を紹介。	11/28(水)～12/4(火)	無 料	
	平成の古九谷 武腰 潤 展 現代九谷を代表する作家 武腰潤の品格のある色絵作品を展示。	21(水)～27(火)	無 料	

小倉北 小倉城 etc.

所小倉北区内2-1 ☎093(561)1210 時9:00～17:00(11月～3月)入館は閉館の30分前まで
 〇「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 休2019年3/31まで休館中

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
第47回 小倉城菊花展 大輪・盆栽・懸崖 菊愛好家の受賞作品を中心とした展示	11月～13月	無 料 ※会場：北九州市立小倉城庭園前特設花壇	小倉城 093(561)1210

小倉北 水環境館

所小倉北区船場町1-2 TEL093(551)3011 時10:00~19:00
 自「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 自「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分 休年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
多目的ホール	「歌とピアノの奏べ」 歌 酒井京子 ピアノ 湯田美津子	7(水)	14:00	無 料	水環境館 093(551)3011
	「バイオリンとピアノの奏べ」 バイオリン 加来洋子 ピアノ 湯田美津子	21(水)	14:00	無 料	

小倉南生涯学習センター

所小倉南区若園5-1-5 TEL093(931)1286 時9:00～22:00 車「小倉南区役所」徒歩1分、「企救中学校前」徒歩2分
 車(モノレール)「北方駅」徒歩12分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	第29回 ハートフルコンサート 障がい者との音楽をとおしての交流	11(日)	13:00	無 料	NPO法人百瀬ミュージック事務局 080(5211)1198【塩田】
	小倉南文化祭 音楽会	25(日)	11:00	無 料	小倉南音楽連盟 080(4287)9652
展示コーナー	九州刻字研究会 第17回作品展	13(火)～ 18(日)	9:00～ 17:00	無 料 ※13(火)は13:00から、18(日)は15:00まで	九州刻字研究会事務局 090(1364)8127【赤星】
	小倉南美術協会 写真部 会員・会友展	20(火)～ 25(日)	9:00～ 17:00	無 料 ※20(火)は12:00から、25(日)は15:00まで	小倉南美術協会写真部 093(451)1543【佐藤】

小倉南 平尾台自然の郷 etc.

所 小倉南区平尾台1-1-1 画093(452)2715 時9:00~17:00(3月~11月) 車小倉南C約20分
車石原町駅よりタクシー、おでかけ交通で約15分 車中谷営業所よりタクシー、おでかけ交通で約20分 休火曜日(祝日の場合は翌日休園)

イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
しし座流星群観賞会 流星の観賞スポットとして22時まで開園。(自由見学) 22時以降は明朝まで臨時駐車場を無料開放	17(土)	17:00～22:00	無 料	平尾台自然の郷 093(452)2715

若松 若松市民会館     所若松区本町3-13-1 ☎093(771)8131 時9:00～22:00
 員「若松駅」徒歩1分 員「大橋通り」「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分 休年末年始 回110台(共用)

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	若松区文化祭 筑前琵琶の会	4(日)	14:00	無 料	若松区文化協会筑前琵琶部 080(6405)1098【山口】
	若松区文化祭 日本舞踊の会	25(日)	11:00	一般 ￥2000 学生 ￥1000	若松区文化協会日舞部 090(2510)0488【勝美】
小ホール	若松区文化祭 華道展・ミニ盆栽展	1(木) ～7(木)	9:00	無 料	若松区文化協会華道部 093(771)0619【三木】
	若松区文化祭 若松児童文化会文化祭	18(日)	14:00	無 料	若松区文化協会児童文化部 093(742)7801【伊藤】
展覧室 美術室	若松区文化祭 書道展	1(木) ～7(木)	9:00	無 料	若松区文化協会書道部 090(7457)1911【和田】

若松 北九州学術研究都市 会議場  所若松区ひびきの2-3 (公財)北九州産業学術推進機構総務企画部施設管理担当課 ☎093(695)3003
 員「折尾駅」より市営バス「学研都市ひびきの」15分 員「黒崎駅」より西鉄/市営バス「学研都市ひびきの」30分
 員北九州都市高速「黒崎IC」20分

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
ひびきの・みつさだ気ままに音楽会2018 ～音楽で地域をつなぐ・世代をつなぐ～	11(日)	9:30	無 料	光貞市民センター 093(692)9469

若松 現代美術センター CCA北九州  所若松区ひびきの2-5 学術研究都市 ☎093(695)3691 時10:00～17:00(展覧会開催時のみ)
 員市営バス「学研都市ひびきの」徒歩3分 休年末年始

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
CCA 20+プロジェクト ルアンサック・アヌワトウィモン展 タイのアーティストによる「輪廻転生」をテーマとした作品の展覧会	10/1(月)～11/9(金) (日・祝休み)	無 料 ※土曜日は12:00から	現代美術センターCCA北九州 093(695)3691

八幡東 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)  所八幡東区東田2-2-11 ☎093(663)5411 時平日9:00～19:00、土・日・祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで)
 員「スペースワールド駅」徒歩5分 員「いのちのたび博物館」徒歩3分
 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 回大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
ギャラリー 企画展示	秋企画展「光のふしぎ展 2」 光が魅せる色や音と、人の動きが反応し合う、ふしぎなスペースで遊んでみましょう。	10/13(土)～1/14(月)祝	大人 ￥300 小人(小中学生) ￥100 ※小学生未満無料	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411

八幡東 北九州市立旧百三十銀行ギャラリー   所八幡東区西本町1-20-2 ☎093(661)9130 時10:00～18:00
 員「八幡駅」徒歩5分 休年末年始

イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
宮澤賢治(童話・唄・詩)朗読会 主催 交差転プロジェクト・北九州	11(日)	14:00～15:30	一般 ￥1000 中高生 ￥500 ※当日各￥300増	093(952)5662【坂本】
ステンドグラスのパネルとランプ展 出品内容 ステンドグラス、パネル、アクセサリー、小物類など 主催 Stained Glass Accent(逆瀬川京子)	16(金)～22(木)	10:00～17:00	無 料 ※16金は15:00から、22金は16:00まで	093(621)9505【逆瀬川】

八幡東 北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)   所八幡東区東田2-4-1 ☎093(681)1011 時9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
 員「スペースワールド駅」徒歩5分 員「いのちのたび博物館」徒歩1分
 休年末年始、6月下旬頃(約1週間) 回大型30台、普通300台(有料)

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
企画展「入門 日本刀」 全日本刀匠会会員の作品から、刀剣の基本的な見方を中心とした展示です。	開催中～11/25(日)		要常設展観覧料 大人 ￥500 高大生 ￥300 小中生 ￥200	いのちのたび博物館 093(681)1011
秋の特別展「食のたび一箸と和食の文化史―」 旅順博物館の箸コレクションや、古代から江戸時代までの食文化について紹介。			大人 ￥500 高大生 ￥300 小中生 ￥200 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券あり	
秋の特別展開関連イベント「室町時代から続く大草流庖丁式」 庖丁刀と矢箸を使い、素材に直接手を触れずに魚鳥を捌く儀式を披露します。	4(日)	14:00	無 料 ※小学生以下は保護者の参加が必要 ※当日先着200名	
秋の特別展開関連イベント「利きダシ」 かつおに昆布にシイタケ…異なる素材でとったダシを味見して利きダシに挑戦！	18(日)	13:30	要特別展入場料 ※小学生以下は保護者の参加が必要 ※当日先着50名	
秋の特別展開関連イベント「ギャラリートーク」 特別展会場で学芸員が「食」にまつわる美味しい話をご紹介します。	18(日)	14:00	要特別展入場料 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
秋の特別展開関連イベント『「和食の日」特別企画 歴食クッキング』 古代のチーズ「蘇」と江戸時代の「たまごふわふわ」を作り、試食します。	24(土)	13:30	保険代・材料費 ￥200 別途特別展入場料が必要 ※要事前申込(抽選)、小学生以下は保護者の参加が必要	
いのたび自然塾「どんぐり祭り！たべよう・あそぼう」 どんぐりについて学び、どんぐりクッキー作りやどんぐりを用いた工作を行う。	10(土)	10:00	保険代・材料費 ￥200	
		13:30	※要事前申込(抽選)、小学生以下は保護者の参加が必要	
歴史探訪講座「北九州の城跡を歩く 長野城跡」 北九州市の中世城郭跡を歩いて探訪します。	11(日)	10:00	保険代 ￥50 ※対象：ハイキング・山歩きが可能な方 ※要事前申込(抽選)、小学生以下は保護者の参加が必要	
たいけん講座「自然史工作教室 ムササビとタネのグライダー」 ムササビと、植物のタネをモデルにした簡単なグライダーを作ります。	17(土)	13:30	無 料 ※要事前申込(抽選)、小学生以下は保護者同伴	
たいけん講座「博物館で秋の植物を楽しもう」 植物や木の実を標本にし、紅葉の仕組みやどんぐりの秘密をご紹介します。	18(日)	13:30	無 料 ※対象：小学生以上 ※要事前申込(抽選)、小学生は保護者同伴	
刀剣手入れ講習会 真剣を手に持って、全日本刀匠会会員が刀剣手入れ方法を伝授！	23(金)祝	10:00 13:30	参加費 ￥1000 ※対象：高校生以上 ※要事前申込(抽選)	

八幡東 北九州市立児童文化科学館  所八幡東区桃園3-1-5 ☎093(671)4566 時9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
 員「市立児童文化科学館前」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
会議室	サイエンスショー 「風船を使って、科学の実験アラカルト」	4(日)	14:00～14:50	無 料	児童文化科学館 093(671)4566
メインホール	星の観望の夕べ プラネタリウム観覧後、月と火星など秋の星空を望遠鏡で観察します	17(土)	18:30～20:00	大人 ￥100 中高生 ￥70 小学生 ￥50 ※中学生以下は保護者の参加が必要 ※先着100名、3土曜から電話受付開始	

八幡西 北九州市立子どもの館

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ7F 画093(642)5555 画10:00～19:00
 画「黒崎駅」徒歩1分 画「黒崎バスセンター」徒歩1分 画11/7、21

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
イベント こま	猿心の猿回し お猿さんがいろいろな技に挑戦します。みんなで応援してね！	10(土)	13:00 15:00	無 料	北九州市立子どもの館 093(642)5555

八幡西 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

所八幡西区木屋瀬3-16-26 画093(619)1149 画9:00～17:30(入館は17:00まで) 画「筑前植木駅」徒歩15分
 画(筑豊電鉄)「木屋瀬駅」徒歩5分 画九州自動車道「八幡IC」、北九州都市高速「馬場山ランプ」約10分
 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
展示 企画 室	第70回企画展「江利チエミ展～梅井崇生コレクション～」  「北九州音頭」を歌った江利チエミ、その多彩な活躍を振り返ります。	10/27(土)～12/2(日)		大人 ￥200 高校生 ￥100 小中学生 ￥50	長崎街道木屋瀬宿記念館 093(619)1149
周辺 記念館	第26回 宿場まつり 木屋瀬宿場踊りや蚤の市など、多彩なイベントを実施します。	4(日)	10:00～ 16:00	無 料	
こやのせ 座	こやのせ座 落語会 北九州市出身の真打落語家・林家さく磨師匠による落語会(前座:橘家門朗)	11(日)	14:00	一般 ￥500 小中学生 ￥200 ※当日一般￥300増、小中学生￥100増 ※小学生未満無料	木屋瀬地域交流センター 093(617)7980
	人権コンサート in こやのせ	17(土)	14:00	無 料	

八幡西 黒崎井筒屋

所八幡西区黒崎1-1-1 画093(643)5111(代) 画10:00～19:30※各最終日は17:00に閉館
 画「黒崎駅」隣接 画不定休

会場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
6階 ギャラリー	谷口靖 絵画展 北九州在住。イタリアや地中海の景色などをモチーフに心象風景を描いた作品約20点を展示。	10/30(火)～11/4(日)	無 料	黒崎井筒屋 ギャラリー 093(643)5268
	千尋工房 加藤雅一作陶展	6(火)～11(日)	無 料	
	生誕130年記念 シャガール秀作版画展	13(火)～18(日)	無 料	
	近沢レース アンティーク展(仮)	20(火)～25(日)	無 料	
	花田和彦 作陶展 磁器と陶器の原料を半分ずつ混ぜて作る「半陶半磁」の作品を紹介。	11/27(火)～12/2(日)	無 料	

八幡西 黒崎ひびしんホール (北九州市立黒崎文化ホール)

所八幡西区岸の浦2-1-1 画093(621)4566 画9:00～22:00
 画「黒崎駅」徒歩10分 画(筑豊電鉄)「黒崎駅」徒歩10分 画「熊手四ツ角」徒歩1分
 画北九州都市高速「黒崎IC」5分 画年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	平成30年度 芸術鑑賞会	2(金)	13:30	無 料 ※関係者のみ	福岡県立八幡中央高等学校 093(681)2335
	丸岡有子バレエ・モダンダンススタジオ発表会	4(日)	15:00	無 料 ※入場整理券必要	丸岡有子バレエ・モダンダンススタジオ 093(621)5531
	八幡西区連合音楽会(中学校)	7(水)	13:00	無 料	北九州市立引野中学校 093(641)1067
	モンゴル児童保護施設 「太陽の子どもたち」夢コンサートⅥ	10(土)	18:00	一般 ￥2000 高校生以下 ￥1000 ※当日一般￥500増	NGOしらゆり会ハミングバーズ 090(7153)2724【宮地】
	八幡東区・八幡西区秋季総合文化祭 箏・三絃・尺八による秋の祭典	11(日)	12:00	無 料	八幡西区文化連盟・八幡西三協会 093(603)1169
	黒崎商店街PR動画コンテスト 最終審査会 光石研さんも来場します!!	23(金)祝	13:00	無 料	八幡西区役所総務企画課 093(642)1443
	第51回北九州アンサンブルコンテスト	25(日)	10:30	￥1200	北九州吹奏楽連盟 090(1340)5364【土谷】
中ホール	第9回日本バッハコンクール北九州地区大会	4(日)	12:00 (予定)	無 料	日本バッハコンクール北九州実行委員会 093(531)5581
	北九州ひとみらいプレイス 人づくり講演会 川口淳一郎氏講演会 北九州市「学びの環」推進フォーラム連携企画 「はやぶさ式思考法」～やれる理由こそが着想を生む～	9(金)	13:30	無 料 ※要事前申込	北九州ひとみらいプレイス事務局 093(641)9360
	古賀千恵 ピアノフォルテ リサイタル	11(日)	14:00	一般 ￥3000 大学生以下 ￥2000 ※小学生未満無料	090(7154)2684【古賀】
	第40回新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 バロック音楽のひと時 ～うたとリユートの響き～ 中原智子(ソプラノ)・太田耕平(リユート)	16(金)	13:00	￥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	九州工業大学男声合唱団メンネルコール 平成30年度定期演奏会	17(土)	14:00	無 料	九州工業大学男声合唱団 メンネルコール 080(9140)7890【平田】
	第20回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 北九州地区大会	18(日)	11:00 (予定)	一般 ￥1000 学生 ￥500	第20回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA事務局 03(6907)2474
	文化庁伝統音楽普及促進支援事業シンポジウム 伝統音楽教育で次世代へ伝えたいこと	20(火)	19:00	無 料	NPO法人和楽啓明 093(641)5587【東島】
	第12回音楽を楽しむ会	24(土)	12:00	無 料	癒音工房 093(661)9666【宮澤】
	ピアノ発表会	25(日)	11:30 14:15	無 料	080(2722)3963【木村】
	合唱の街・北九州 黒崎ひびしんうたごえホール ～みんなで楽しく歌いましょう～	27(火)	13:00	￥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566

八幡西 八幡西生涯学習総合センター

所八幡西区黒崎3-15-3 画093(641)9360
 画9:00～22:00 画「黒崎駅」徒歩1分 画「黒崎IC」約6分 画年末年始

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
周辺 コミュニティ センター	コムシティ・黒崎ひびしんホール・黒崎商店街エリア ひとみらい交流ウィーク コムシティ等で講演会や文化祭を開催。期間中、黒崎こども商店街や子どもビブリオバトルも開催	7(水)～13(火)		無 料 ※一部有料	北九州ひとみらいプレイス事務局 八幡西生涯学習総合センター 093(641)9360
コミュニティ センター	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 音楽のある街づくり ミニコンサート 毎月第2土曜日に、ジャズやボサノバ、映画音楽などを演奏するミニコンサートを実施	10(土)	12:00～ 13:00	無 料	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 093(671)0411【石橋】

八幡西 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー  所 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F 画 093 (644) 5206 時 9:00～19:00 (入館は閉館30分前まで) ※企画展により異なる
黒崎駅 徒歩1分 休年末年始および館内整理日

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
全展示室	2018ふくおか県障がい児者美術展 洋画・日本画・書・写真	開催中～11/4(日)	10:00～17:00	無 料	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課 092 (643) 3346
	ひとみらい交流ウィーク コムシティ ひとみらい文化祭 工芸・書・写真・その他	7(水)～13(火)	9:00～17:00	無 料 ※13(火)は15:00まで	八幡西生涯学習総合センター 093 (641) 9360【内田】
	第11回北九州市障害者芸術祭作品展 洋画・日本画・工芸・書・写真・その他	11/27(火)～12/2(日)	10:00～18:00	無 料 ※12/2(日)は17:00まで	(公)北九州市身体障害者福祉協会 093 (883) 5555【松崎】
展示室1	宇宙人からのメッセージ上映&パネル展	18(日)	11:00～17:00	無 料	JRM福岡 080 (5888) 3137【宮原】
展示室2	地機で織る裂織り展 工芸	20(火)～25(日)	10:00～18:00	無 料 ※25(日)は16:00まで	裂工房 092 (323) 4855【寒河江】
	秋のいけばな展 華道(いけばな)	17(土)～18(日)	10:00～17:00	無 料 ※18(日)は16:00まで	八幡西華道連盟 093 (621) 4814【西村】
	絵画クラブ「風の会」作品展 洋画・日本画	19(月)～25(日)	9:00～17:30	無 料 ※19(月)は12:00から、25(日)は16:00まで	絵画クラブ風の会 080 (8359) 0571【伊藤】

戸畑 北九州市立美術館本館  所 戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 画 093 (882) 7777 時 9:30～17:30 (入館は閉館30分前まで)
美術館口 徒歩10分、「七条」「美術館口」より無料シャトルバス運行 画 210台
休月曜日(祝日・振替休日の場合翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
展示室 企画展 多目的室 黒崎市民ギャラリー	没後80年 青柳喜兵衛とその時代  大正末から昭和初期にかけて活躍した洋画家・青柳喜兵衛。油彩画、装丁、挿絵や親交のあった作家たちを紹介。	開催中～11/11(日)		一般 ¥1100 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※20名以上の団体料金 一般 ¥900 高大生 ¥400 小中生 ¥300	北九州市立美術館 093 (882) 7777
	第74回県展  日本画・洋画・彫刻・書・写真・工芸・グラフィックデザインの7部門を展示。	20(火)～25(日)		一般 ¥300 高大生 ¥200 小中生 ¥100	
	第53回北九書の祭典 書	11/29(木)～12/2(日)		無 料 ※12/2(日)は16:00まで	
展示室 黒崎市民ギャラリー	コレクション展Ⅱ 特集 アメリカで活躍したアーティストたち 1960's-80's  1960～80年代にかけてアメリカで活躍した作家に焦点をあて、戦後アメリカ美術の動向を展望する。一部写真撮影可。	開催中～12/16(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50 ※20名以上の団体料金 一般 ¥120 高大生 ¥80 小中生 ¥40	戸畑美術館(戸畑区役所コミュニティ支援課) 093 (871) 1501
	第70回 戸畑区美術展 洋画・日本画・彫刻・工芸・書・写真	開催中～11/4(日)		無 料 ※11/4(日)は17:00まで	
	2018 秋の合同小品展 洋画	6(火)～11(日)		無 料 ※11(日)は15:00まで	
展示室 黒崎市民ギャラリー	第30回MOA美術館北九州児童作品展 児童絵画	13(火)～18(日)	9:30～17:00	無 料 ※18(日)は15:00まで	MOA美術館北九州児童作品展 実行委員会 093 (284) 3854

戸畑 戸畑市民会館(ウェルとばた内)  所 戸畑区汐井町1-6 画 093 (871) 7200 時 9:00～22:00
黒崎市民会館 徒歩1分 黒崎市民会館 徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	KÖGE音楽祭	4(日)	9:30	無 料	高下富美子歌謡塾 093 (921) 4652【高下】
	平成30年度 戸畑区小学校合同公演「連合音楽会」	6(火)	13:30	無 料	北九州市立牧山小学校 093 (881) 3002【村瀬】
	戸畑区中学校連合音楽会	7(水)	13:30	無 料	北九州市立高生中学校 093 (881) 3276【杉村】
	北九州交響吹奏楽団 第62回定期演奏会	11(日)	15:00	¥800 ※当日 ¥200増 ※高校生以下無料	北九州交響吹奏楽団 090 (3416) 4181【杉名】
	第47回 うたと民謡のつどい	29(木)	10:00	¥500	北九州市立婦人会館 093 (592) 1411【安部】
中ホール	声楽発表会フォレストイーナコンサート	3(土)祝	14:00	無 料	フォレストイーナ 093 (592) 3438【白川】
	秋の夜長のホラーな音楽会 其の式 上野美科vn、金子鈴太郎vc、永野栄子pf	9(金)	19:00	一般 ¥3000 学生(高校生以下) ¥2000 ※対象:小学生以上 ※当日各 ¥500増	KAMACHAN planning 090 (8401) 0220【蒲ヶ原】
	音楽の宝石箱(ジュエリーボックス)風の旋律Ⅴ 風のような心地よいハーモニーを、歌とギター、尺八、フルートで奏でます	11(日)	15:00	一般 ¥2500 学生 ¥1000 ※対象:小学生以上 ※当日 ¥500増	ムジカ・アンティクワ 090 (7980) 6439【吉住】
	ふれあいフェスタ2018・第11回北九州市障害者芸術祭 ふれあいフェスタのイベントは11時から	25(日)	13:00	無 料	北九州市保健福祉局人権推進センター 093 (562) 5010【山下】
展示室 多目的室 黒崎市民ギャラリー	北九州文化連盟創立55周年記念「子ども芸術祭」 未来を担う子どもたちの文化・芸術の祭典!!	23(金)祝～25(日)		無 料 ※整理券あり	北九州文化連盟 093 (682) 1591
	ウェルカムコンサート 出演者:栗原みのり(ソプラノ)・宮崎由起子(ピアノ)	8(木)	12:20	無 料	ウェルとばた総合案内 093 (871) 7200

戸畑 戸畑生涯学習センター  所 戸畑区中本町7-20 画 093 (882) 4281 時 9:00～22:00 黒崎市民会館 徒歩5分
黒崎市民会館 徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
多目的室	戸畑区文化祭 合同いけばな展 池坊・専心池坊・小原流・日本華道・春日流	3(土)祝～4(日)	9:00～17:00	無 料 ※4(日)は16:00まで	戸畑華道協会 080 (4236) 6867【平野】
	戸畑美術協会 絵画部会員展 油彩・水彩 約60点	20(火)～25(日)	10:00～17:00	無 料 ※20(火)は13:00から、25(日)は16:00まで	戸畑美術協会 絵画部 093 (871) 0200【浮城】
	戸畑光影会 写真の展示 約70点	11/28(水)～12/2(日)	10:00～17:00	無 料 ※12/2(日)は16:00まで	戸畑光影会 093 (652) 0593【荒木】

ジャンルごとに色分けして表記しています
 演劇・舞踊  音楽  美術・展示  etc. 映像・その他催し  障 障害者手帳減免があります
※10月12日現在の情報です
※催しは内容など変更になる場合がございます

情報コーナー

■北九州文化連盟創立55周年記念「子ども芸術祭」

11月23日(金・祝)～同25日(日)。ウエルとばた(戸畑区汐井町)。全18団体の子どもたちが参加。

【展示部門】同23日(金・祝)～同25日(日)、午前10時～午後5時。交流プラザ、多目的ホール。展示や体験。【ステージ部門】同24日(土)、午前11時～午後4時。戸畑市民会館大ホール。ノンストップステージパフォーマンス。【子ども文化まつり】同25日(日)。同中ホール。各部門入場無料(整理券あり)。北九州文化連盟 093(682)1591



『子ども芸術祭』チラシ

■平成の新発見! 小倉城

石垣調査の成果と城の暮らし 11月25日(日)。午後0時20分開場、同1時開演。北九州芸術劇場中劇場(小倉北区室町ノリパーウォーク北九州6F)。小倉城発掘調査の成果や歴史的役割について講演。講師は千田嘉博(奈良大学教授)、永尾正剛(北九州文化財保護審議会会長)、佐藤浩司(公益財団法人北九州芸術文化振興財団埋蔵



『平成の新発見! 小倉城 石垣調査の成果と城の暮らし』チラシ

文化財調査室室長)。入場無料。先着600名。北九州文化企画課 093(582)2391

■南紫音ヴァイオリン・リサイタル

12月1日(土)午後2時30分開場、同3時開演。北九州市民立響ホール(八幡東区平野)。平成29年度北九州市民文化賞を受賞した南紫音が響ホールに登場。ピアノ江口玲。曲目はサラサー



『南紫音ヴァイオリン・リサイタル』チラシ

テ「ツイゴイネルワイゼン」ほか。全席指定。入場料、一般3000円、25歳以下(入場時要証明)2000円。当日も同一料金。未就学児入場不可。響ホール音楽事業課 093(663)6661

■音の杜 Le Monde Nouveau

12月7日(金)午後6時30分開場、同7時開演。黒崎ひびしんホール中ホール(八幡西区岸の浦)。出演は森野由み、岩崎佳子、小谷美佳、森園あや、宮崎由紀子、吉田恵美、上野美科、田室信哉ら地元で活躍する演奏家。時代とジャンルを超えた多彩な構成。中村滋延編曲。全席自由入場料、一般2000円、大学生以下1000円。当日2000円増。未就学児膝上1人無料。黒崎ひびしんホール 093(621)4566



『音の杜Le Monde Nouveau』チラシ

CulCulの主な設置場所

各区役所・出張所、市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、響ホールなど

北九州文化芸術メディアサイト CulCul・かるかる

ウェブで情報発信中!

スマホ・パソコンから



<http://www.kitakyushu-culcul.jp>

●主なコンテンツ

- ・『CulCul・かるかる』最新号の記事
- ・イベント情報
- ・イベントカレンダー
- ・文化施設案内
- ・かるかるバックナンバー
- ・関連リンク ほか

かるかる CulCul CultureCulCul

埋蔵文化財 hiroba

遺跡からのメッセージ

(公財)北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室 学芸員

山口裕子 Yuko Yamaguchi

積み重なる歴史の礎 —小倉城三ノ丸跡— 第11地点の調査と土層—

小倉城三ノ丸跡は紫川と板櫃川に挟まれた低丘陵上にあります。幕末ごろに描かれた『小倉藩土屋敷絵図』によると、西曲輪に位置しており、主に上級武士の屋敷が立ち並んでいました。

これまでに10回の発掘調査が行われており、今年度に調査を行った第11地点は西小倉小学校の敷地内にあります。今回の調査では、近世に丘陵の裾部を大規模に埋め立てていることが分かりました。この造成によって急斜面（法面）が造られており、これが三ノ丸の西の境界となっています。斜面の高低差は約4メートル、この下にはさらに古い時期の地面があります。そこには土手や溝などが確認されており、近世以前に存在した中世小倉城に関連する遺構だと考えられます。

発掘調査ではこうした遺跡の形成（埋没）過程を考えるために、任意の箇所を掘り残して壁を造ります。この壁をきれいに削って、断面として土層の確認を行うのです。土層とは主に考古学や土壌学で用いられる言葉ですが、異なる色や質の土が積み重なって層を成している状態、もしくは層単体を示します。考古学では、その層が自然堆積か人為的な造成か、また、土器や石器などの遺物が含まれている（遺物包含層）か、遺構が掘り

込まれている（文化層）か、などの情報によって遺跡の形成過程や年代などを考えていきます。土層を見て遺跡の内容を理解することは発掘調査において欠かせない技術の一つです。

写真1は調査区の北壁に見える土層で、一番下の地面には中世の遺構群があります。この面から現在の地面まで約5メートルの高さがあり、堆積した土層は大きく四つに分けられます。

中世の遺構群の直上にある①は、近世、おそらく細川忠興が築城する際に造成した層だと考えられます。写真2は東壁に見える近世造成層の写真で、左上から右下へ傾斜する筋状の土層が確認できます。これは作業工程を示しており、左（北）から右（南）に向かって土を落とし込んだと推測されます。また、それぞれの土層は当時の人々が手作業で運んだ土のまとまりだと考えられます。自動車や機械



写真1 小倉城三ノ丸跡北壁土層



写真2 小倉城三ノ丸跡東壁土層

などのない時代4メートルまで積み上げた筋状の土層は、城造りに携わった人々の苦勞の証しと言えるでしょう。②は堀の堆積土と考えられる層です。前述の絵図において三ノ丸の西境には「幅六間半（約12・8メートル）」「深五尺（約1・52メートル）」の堀が描かれており、この堀に溜まったヘドロの層だと考えられます。この層には木材や瓦礫などのごみと共に、昭和2年と記された一銭硬貨も見つかりました。堀が造られたのは江戸時代ですが、昭和初期まで使われていたと推測されます。その上にある③にはガラス片や近代以降の陶磁器片が含まれ、また②の堀の上にあることから昭和初期以降の造成だと分かります。この層は①の斜面を西側に拡張する大規模なもので、1933（昭和8）年に完成した小倉工廠（小倉陸軍造兵廠）の建設に伴うものと考えられます。そして戦後、小学校がこの場所に移転する際に最上層④の整地

が行われた、という変遷を見ることができるとのことです。

こうしたさまざまな情報を含みながら土層は堆積し、遺跡が形成されていきます。よく、遺跡は特別な場所にしかないと思っている方もいますが、人類の誕生から現代まで、人の生活範囲であれば、どこでも遺跡になります。実は「あなたの家も遺跡の中」ということはよくありますし、まだ見ぬ遺跡が皆さんの足下に眠っているかもしれません。歴史の流れとともに積み重なった地面が礎となり、その上に今の私たちの生活があるのです。

（埋蔵文化財の展示案内）

・北九州市立埋蔵文化財センター〈小倉北区金田1の1の3 093(582)0941〉

北九州市を掘る(90)『弥生から中世の村と祭祀—祇園町遺跡第12地点の調査から—』小倉南区祇園町遺跡から出土した弥生時代から中世にかけての土器、陶磁器、また井戸や柱穴から出土した祭祀遺物など50点を展示・常設展もあり

【入館料】無料 【開催期間】8月21日(火)～11月18日(日)まで

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※毎週月曜日(休日の場合はその翌日)休館

・黒崎歴史ふれあい館〈八幡西区黒崎3の15の3黒崎駅横コムシティ1F〉

常設展開催中/『城下町から宿場町へ—出土品が語る黒崎の歴史と文化—』

『シュガーロード—発掘物語—』

【入館料】無料 【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

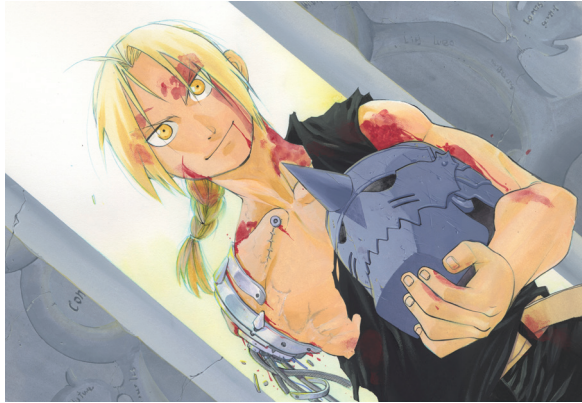
※年中無休

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 学芸員

石井 茜 Akane Ishii



単行本27巻カバー ©Hiromu Arakawa/SQUARE ENIX

「鋼の錬金術師」

「ボーダーレスに愛される物語」

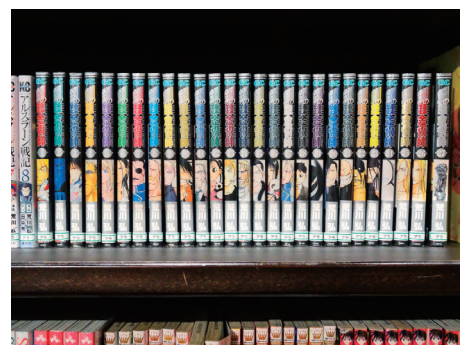
現在北九州市漫画ミュージアムでは、月刊『少年ガンガン』（スクウェア・エニックス）で2001年から10年まで連載された荒川弘による少年漫画「鋼の錬金術師」の直筆原稿を多数展示する「鋼の錬金術師展」を開催しています。連載終了から8年を経ながらも続く人気や、海外での認知度の高さは先月号の「CulCul特集」でもお話し

ましたが、今回は「なぜこんなにも愛されているのか？」というところを中心に、作品の魅力について紹介します。

さて、この展覧会は東京で始まり、大阪・高知・兵庫・新潟州での開催は当館が初となりました。これまでの開催会場で見られたのが、ファンたちの熱心な姿です。アニメ「鋼の錬金術師」で主人公・エドを演じた朴璐美さん、そしてその弟・アルを演じた釘宮理恵さんが声を担当して、「ハガレン」の世界へと誘う音声ガイドを片手に、じっくりと原画を見つめる姿。名シーンの原稿の前に、読んでいた当手を振り返りながら思い出を語り合う姿。連載やアニメ放映をリアルタイムで追っていた20〜30代がメインの来場者層ということもあり、SNSにも熱い感想が並んでいます。

多くの人が語りたくなる、そして思い出している胸が熱くなる作品と言えるハガレン。そこには人々を惹きつける物語があり

ます。大筋は冒険と戦いによる主人公の成長と、いわば少年漫画の王道ですが、まずキャラクターたちの武器として驚異の技術「錬金術」を用いるという作者のダイナミックな発想があり、そこに生命倫理の問題、現実世界を映し出すような軍国主義と迫害の歴史が絡んでいきます。このようにして描かれる世界の説得力と斬新さが、物語に深みを与え、読者の心にもまたそれらが深く刻まれているのです。ファン層の幅広さも特徴的です。冒頭でハガレンは「少年漫画」であると説明しましたが、セクシャリティや世代を超えて、さまざまな人がハガレンを読み、そして愛しています。物語の素晴らしさに加え、作者のキャラクター造形の巧みさも、その大きな理由の一つでしょう。ハガ



北九州市漫画ミュージアム所蔵「鋼の錬金術師」全27巻

レンの世界では、男性も女性も、大人も子どもも、さまざまな事情や特性を持つ人々が、それぞれの居場所での自分ができることを全うします。そして彼らの誰しもが、敵や味方という枠組みを超えて、一つの命として迷い、揺らぐのです。命や自我の在り方を描こうとする真摯な姿勢が、読者に多くの共感と感動を呼んでいると言えるでしょう。

連載開始から17年間にわたって愛され、そしてこれからも愛され続けるであろう「鋼の錬金術師」の世界を、ぜひ会場でお楽しみください。

※ 「鋼の錬金術師」の愛称

Information

「鋼の錬金術師展」

【開催期間】10月13日(土)～12月9日(日)

【会場】北九州市漫画ミュージアム企画展示室(あるあるCity5F)

【開館時間】午前11時～午後7時(入館は午後6時30分まで)

【休館日】毎週火曜日

【入館料】一般1000円 中高生500円 小学生250円 ※小学生未満無料

※詳しくは北九州市漫画ミュージアムのホームページをご覧ください

<http://www.ktqmm.jp/>

【お問合せ】北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077

美術 hiroba

美術館へ行こう！

北九州市立美術館 学芸員

重松知美 Tomomi Shigematsu

没後80年

青柳喜兵衛とその時代

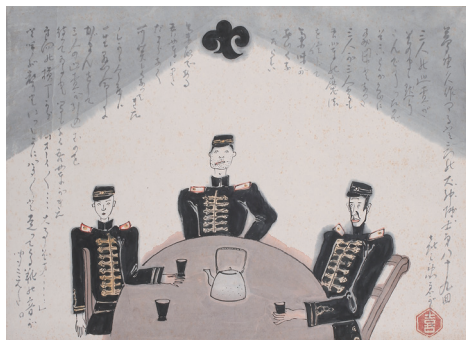


青柳喜兵衛《天翔ける神々》
1937年 北九州市立美術館蔵

北九州市立美術館本館では、11月11日（日）まで、大正末期から昭和初期にかけて活躍した洋画家・青柳喜兵衛（1904～38年）の展覧会が開かれています。

青柳喜兵衛は博多に生まれ、柔道場の館主であった父の薫陶を受け柔道を学び、水泳も得意とするなど活発な一方で、幼いころから絵や文学に心ひかれる少年時代を過ごしました。学生時代から油彩画を描きはじめ、上京後、本格的に洋画技法を学びます。

帝展のほか槐樹社、旺玄社で作品を発表し、その画風は、青柳が所属した槐樹社の画家たち、牧野虎雄、吉村芳松ら官展系作



青柳喜兵衛《「犬神博士」第89回挿絵原画(再制作)三人巡查》
1933年 北九州市立美術館蔵

家たちの影響が見られます。青柳の静物画やイラストには、玉葱や蓮根、白菜、ブドウ、イチジクなどの野菜果物がよく登場します。特に玉葱は特別な存在であったようで、玉葱の伸びる芽に自らの画家としての歩みを重ねたエッセイを執筆しており、後年の青柳の評伝では「玉葱の画家」と評されたほどです。これは、青柳の生家が青果問屋で幼い頃から身近な環境であったことも大きいでしょう。

また、晩年には郷土玩具や子どもを描くようになり、作品には対象を愛しく思う青柳の温かなまなざしが感じられます。

晩年の代表作《天翔ける神々》は、前年に病没した愛児と、子どもの健やかな成長を願う玩具たちが描かれています。かわいらしい玩具たちと遊ぶ子どもの



青柳喜兵衛《厨房にあるもの》
1935年 北九州市立美術館蔵

姿と鮮やかな色彩には、天国で我が子が元気でいるようにと願う、父としての青柳の追悼の思いが込められているようです。

青柳は1926（大正15）年から帝展に連続入選するなど洋画家として早くから高い評価を受けましたが、挿絵や装丁の分野でも活躍しました。夢野久作の新聞小説『犬神博士』挿絵をはじめ、火野葦平、劉寒吉、原田種夫ら九州の文士たちとの交流から生まれた多くの装丁・挿絵もまた、青柳の画業の大きな一角を占めています。このほか、青柳は「川端生樹」のペンネームで詩人としても活動しました。

洋画家、挿絵画家、そして詩人としても精力的に活動していた38（昭和13）年、青柳は34歳の若さで早世しました。

挿絵なども含む、青柳の多彩

Information

没後80年 青柳喜兵衛とその時代

【会期】9月15日（土）～11月11日（日）

【開館時間】午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時00分まで）

一般1100(900)円 高大生600(400)円 小中生400(300)円

※（ ）内は前売りおよび20名以上の団体料金

障害者手帳を提示の方は無料

年長者施設利用証（北九州市交付のもの）を提示の方は2割減免

【お問合せ】093(882)7777



火野葦平著／青柳喜兵衛装丁『詩集 山上軍艦』とらんしつと詩社
1937年 個人蔵

な画業の全容が明らかとなるのは本展が初となります。青柳の作品から戦前の九州で美術、文学を横断して花開いた文化の一端をご紹介します。

文芸 hiroba

清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 学芸員

小野 芳美 Yoshimi Ono

『砂の器』 シネマ・コンサート

北九州市立松本清張記念館は、今年開館20周年を迎えました。

清張の七回忌である1998年8月4日の開館以来、国内外から140万人を超える来場者にお越しいただいています。

この開館20周年を記念して、当館では年初からさまざまなイベントを行ってまいりました。この『CutCut・かるかる』誌上でも何度かご紹介いたしましたので、11月25日(日)にいよいよ「『砂の器』シネマ・コンサート」を開催します。

清張の小説『砂の器』(1960~61年)を映画化した『砂の器』(野村芳太郎監督、74年、松竹)は、練り上げられたシナリオと1年がかりで撮影された映像の美しさも相まって、公開



「『砂の器』シネマ・コンサート」チラシ

当時から高い人気を呼びました。評論家からも「推理(作品)」という枠をとびこえて、日本映画史上でも屈指の名作」と高評を得、何度もリバイバル上映されました。原作者である清張も高く評価した本作は、80年代には日本映画の代表作の一つとして中国でも紹介され、たちどころに全土で評判になります。国境を超えて清張の名を知らしめることとなりました。

さて、今回開催する「シネマ・コンサート」とは、映画本編をスクリーンで全編上映し、せりふや効果音はそのままだに、劇中の音楽部分のみ生演奏するというものです。大スクリーンに映し出される映画を観ながら同時にライブ演奏を堪能できるといふ新感覚の上映形態は、数年前から首都圏を中心に開催されています。『ゴッドファーザー』、『タイタニック』、『ハリー・ポッター』シリーズ、『ラ・ランバ』など洋画が中心でしたが、昨年、『砂の器』が上演され、今年の東京・大阪公演も大好評を博しました。この北九州公演は、大阪以西で初めての開催となります。

映画『砂の器』の白眉は、ク

ライマックスでの40分にわたる演奏会シーンです。和賀英良(加藤剛)が、半生を振り返りながら、想いを込めてオリジナルの組曲「宿命」(菅野光亮作曲)を演奏するドラマチックな場面は観客の胸を強く打ちますが、この場面を最大級に堪能できるのが「『砂の器』シネマ・コンサート」ではないでしょうか。

演奏に必要なオーケストラ用の譜面が現存しなかったため、和田薫氏が映画から全ての楽曲の採譜を行い、楽譜を起こすところから始められました。一方、映画本編はミックスされた音声素材しか残っていなかったため、松竹の技術スタッフが劇中の音楽を全て消去し、せりふと効果音のみを残す作業を長時間かけて行い、シネマ・コンサート用上映素材を完成させました。

本公演でタクトを振るのは準備段階から携わってこられた和田薫氏です。和田氏は、クラシックから現代音楽までを手掛ける日本屈指の作曲家として、映画・テレビ・舞台など、幅広いフィールドで活躍されています。また、「宿命」ほかピアノが大きな役割を果たす本作ですが、国内外の著名オーケストラでの複数回にわたる客演経験を持ち、カーネギーホールをはじめとする海外でのリサイタルも成功させている近藤嘉宏氏が、東京・

大阪公演に引き続き、ピアノ演奏を担当されます。演奏を担当するのは九州交響楽団。1953年以来的の歴史と実力を誇る、九州で唯一の日本オーケストラ連盟正会員オーケストラです。映像も、フィルムのデジタル修復により美しく鮮やかに蘇ります。

Information 『砂の器』シネマ・コンサート

【日時】
11月25日(日) 午後1時開場、同2時開演(同5時終演予定)
【会場】
北九州芸術劇場大ホール
小倉北区室町1の1の11 リバーウォーク北九州6F
【入場料】S席5000円 A席3800円
【お問合せ】北九州市立松本清張記念館 093(582)2761
【チケット取り扱い】
松本清張記念館地階ミュージアムショップ (午前9時30分~午後5時30分)
九響チケットサービス 092(823)0101 (平日午前9時30分~午後5時30分)

演劇 hiroba

演劇の街は、いま
大塚恵美子演劇事務所 代表
おおつか えみこ Emiko Otsuka

中学校演劇部の 新たなチャレンジ



篠崎中学校『時間泥棒』

今年も、7月に、北九州市中学校文化連盟主催「北九州市中学校演劇部合同発表会」が行われた。参加校は4校で、例年通り、各校工夫を凝らした作品を上演した。

- ▽篠崎中学校『時間泥棒』
- ▽広徳中学校『カ・ラ・フ・ル』
- ▽上津役中学校『シャケと子ジャケの唄』
- ▽則松中学校『人形館〜則松中バージョン』

最優秀賞は、則松中学校『人形館〜則松中バージョン』で、「全国中学校総合文化祭長崎大会」（8月25日／アルカスSASEBO）に出場、また、広徳中学校『カ・ラ・フ・ル』が「北九州市中学校文化総合発表会」（10月14日／戸畑市民会館ホール）で再演された。

2017年の本誌10月号でも、この中学校演劇の大会のことを取り上げさせていただき、その



広徳中学校『カ・ラ・フ・ル』

際、演劇部の数が減少していることや、指導者不足などについて書いた。あれから1年。状況はあまり変わっていない。しかし、今年はそこから一歩踏み出すべく、市内の中学校の演劇部が協力して新たなチャレンジを開始するという。

そのチャレンジとは、合同公演だ。2020年、北九州市で「第20回全国中学校総合文化祭福岡大会」が開催されること が決定している。全国から中学生が集い、書写や美術などの展示や、合唱やマーチング、吹奏楽などの発表を行う。北九州の合同発表会での最優秀校は、この大会の演劇部門で作品を上演することになっているが、それとは別に、学校の枠を超えた合同公演チームでの作品を全体会の会場で上演しようというのである。

その準備は早速今年から始ま



上津役中学校『シャケと子ジャケの唄』

っている。初めての合同公演作品を制作するべく、8月・11月にかけて、週末を利用した合同練習を実施、11月に行われる北九州文化連盟主催の「子ども芸術祭」（11月24日／戸畑市民会館大ホールなど）で上演する予定だ。

30分程度の小品ではあるが、「北九州劇団代表者会議」の協力の下、地元の劇団の演出家数名が指導者として参加するなど、単なる「花火」的イベントではなく、「これから」に繋がる継続的な活動にしたいとのこと。

地元で活動する演劇人としてはとても興味深い動きである。

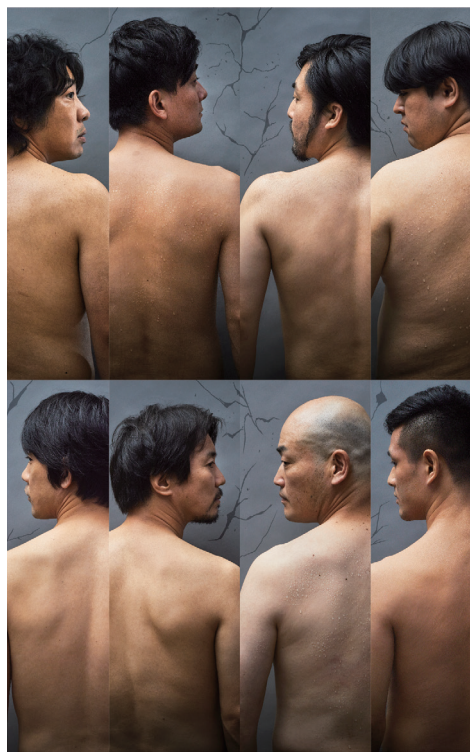
中学生にとっても、他校の生徒との創作創造活動や、身内でない観客の前での作品上演はかなりの刺激的な体験となるに違いない。この体験を経て、進学しても、社会に出て、演劇を

続けていきたいという生徒が一人でも増えれば、大成功と言えるのではないか。2020年以降もぜひ続けてもらいたい活動だ。

これも以前書いたことだが、演劇部以外にも、演劇に興味がある、やってみたい、と思っている中学生はいるはずだが、その「受け皿」が少なすぎるのが現状だ。もちろん劇団で未成年を引き受けるとなると、練習時間が制限されたり、稽古場への行き帰りの安全面なども考慮したりしなくてはならず、両手を広げてウェルカムとは言えないだろうし、中学生が体験するのに適した作品を創っている劇団もそう多くはない。せっかく中学校演劇が動き出したのだから、そういった「受け皿」の創出も考えるべき時期なのかもしれない。



則松中学校『人形館〜則松中バージョン』



©トミタユキコ

北九州芸術劇場プロデュース／九州男児劇 「せなに泣く」

宣伝営業課 広報係 一田真澄 Masumi Ichita

Cul 特集Cul 67

北九州芸術劇場

せなに泣く、背中で泣く
世間に泣く、なぜに泣く

「九州男児」という言葉に、どのようなイメージがあるでしょうか。頑固一徹、祭り好き、豪快奔放、情に厚い。或いは「無法松の一生」を思い浮かべる方もいるかもしれません。明治、大正、昭和、平成。時代の流れの中で少しずつその姿を変容させてきたともいえる「九州男児」をモチーフに、今秋、新たな演劇作品を創作します。

作・演出を手掛けるのは、熊本出身で、東京を拠点にしながら全国各地で活動を展開する劇作家・演出家の田上豊です。

北九州では、主宰する劇団「田上パル」での公演のほか、学校や社会福祉施設でのワークショップ講師、また2015年には、東筑紫学園高等学校の生徒らと



作・演出 田上豊

「Q学」という演劇作品を創作しました。

熱さの向こうがわ

「体育会系演劇」と評されるほどに、多彩なアクションを織り交ぜた疾風怒濤のテンポ。観客の心に真つすぐに届く、ある種の鋭さを秘めた方言を多用したせりふ。演劇でしかできない表現を追求した遊び心満載の演出。俳優たちの圧倒的熱量で、喜怒哀楽の坩堝へと誘われる田上の作品は、世代を超えて多くの人々の心を捉えます。

今作で田上が描くのは、幼少期を施設で過ごし、親の背中を見ることなく育った兄弟とその仲間たちの物語。彼らの現在と過去を行き来しながら、時代の狭間で揺れ動く男たちの声なき声を舞台へと映し出し、世間では熱い男とされてきた九州男児たちの「熱さの向こうがわ」を描きます。

オール九州の俳優たち

出演者は、全員が九州出身と



稽古序盤から、俳優たちの熱のある演技に引き込まれます

いう背景を持つ8人の俳優たちです。地元北九州・福岡を拠点にしながら、確かな演技力で全国の劇団への客演も多数行う有門正太郎、椎木樹人、寺田剛史。学ラン姿で踊るダンスカンパニー「コンドルズ」のメンバーとして多彩な活動を行う、ぎたろー。アングラ演劇の旗手、唐十郎率いる劇団「唐組」などを経て、全国の劇場の創作作品にも出演する日高啓介。ここにオーディションで選出された気鋭の3人が加わり、どのような化学反応を巻き起こすのかも見どころの一つです。

九州男児をモチーフに、男女観や家族観、社会の移り変わりを田上作品らしいユーモアを交えて見つけていく本作。武骨な

がらも純粋な男たちの生き様が明日への勇気呼び起こす一作を、ぜひ劇場で楽しみください。

Information

北九州芸術劇場プロデュース／九州男児劇
「せなに泣く」

【作・演出】田上豊(田上パル)

【出演】有門正太郎(有門正太郎プレゼンツ)、ぎたろー(コンドルズ)、椎木樹人(万能グローブ ガラバゴスダイナモス)、寺田剛史(飛ぶ劇場)、日高啓介(FUKAIPRODUCE羽衣)、荒木宏志(劇団ヒロシ軍)、河内哲二郎、五島真澄(PUYEY)

【公演日程】11月29日(木)～12月2日(日)

	11月29日(木)	11月30日(金)	12月1日(土)	12月2日(日)
午後1時			●	●
午後6時			★	
午後7時	●	●		

★12月1日(土)午後6時はアフタートークあり

※開場は開演の30分前

【会場】北九州芸術劇場小劇場

【料金】一般3000円、学生2500円(小～大学生・要学生証提示)、高校生(的)チケット1000円(枚数限定・劇場窓口にて前売りのみ取り扱い・要学生証提示)

※全席自由 ※当日各500円増

※未就学児入場不可

※チケットは劇場、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売中

【お問合せ】北九州芸術劇場

093(562)2655

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

特集

北九州芸術劇場

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | 清張アラカルト

美術 | 美術館へ行こう!

漫画 | 漫画と北九州

埋蔵文化財 | 遺跡からのメッセージ

音楽 | いろはにぴあの

2018
November

11

Vol.67



森鷗外旧居
市指定史跡
(小倉北区)〈画:西川幸夫〉